

# 2023 年度一般社団法人日本ゴールボール協会事業報告

## 1. 大会関係事業

(目的)

日本国内におけるゴールボール競技の普及振興と競技力向上のため、競技大会を開催し、育成強化を図った。

### 【主要大会】

◆MONEY DOCTOR パラスポーツスペシャル  
第 30 回 日本ゴールボール選手権大会 女子予選大会  
日程：2023 年 7 月 15 日 (土)・15 日 (日)  
会場：所沢市民体育館 (埼玉県)  
〒359-0042 埼玉県所沢市並木 5-3  
参加チーム数：9 チーム  
備考：2 コート(2 日目 1 コート)

◆MONEY DOCTOR パラスポーツスペシャル  
第 30 回 日本ゴールボール選手権大会 男子予選大  
日程：2023 年 9 月 16 日 (土)・17 日 (日)・18 日 (月)  
会場：所沢市民体育館 (埼玉県)  
〒359-0042 埼玉県所沢市並木 5-3  
参加チーム数：17 チーム  
備考：2 コート

◆MONEY DOCTOR パラスポーツスペシャル  
第 30 回 日本ゴールボール選手権大会  
日程：2023 年 11 月 4 日 (土)・5 日 (日)  
会場：新宿スポーツセンター (東京都)  
〒169-0072 東京都新宿区大久保 3-5-1  
参加チーム：男子 6 チーム・女子 6 チーム  
※それぞれの予選を勝ち抜いた上位チームが参加  
備考：2 コート

### 【共催大会】

◆2023 ジャパンパラゴールボール競技大会 (JPSA 主催)  
日程：2024 年 3 月 15 日(金)~16 日(土)

会場：横浜国際プール

〒224-0021 神奈川県横浜市都筑区北山田7丁目3-1

参加チーム数：女子4チーム日本、イスラエル、韓国、フランス

### 【オフィシャルクリニック】

#### ◆女子予選大会 オフィシャルクリニック

日時：2023年6月11日（日）

会場：所沢市民体育館（埼玉県）

〒359-0042 埼玉県所沢市並木5-3

備考：審判員入門講習会、レフェリー・オフィシャル練習会と合同開催

※27名受講。

#### ◆男子予選大会 オフィシャルクリニック

日時：2023年8月6日（日）

会場：所沢市民体育館（埼玉県）

〒359-0042 埼玉県所沢市並木5-3

備考：審判員入門講習会、レフェリー・オフィシャル練習会と合同開催

※21名受講。

#### ◆オフィシャルクリニック

期日：2023年10月8日（日）10時～15時40分

会場：岐阜県福祉友愛アリーナ

〒502-0851 岐阜県岐阜市則武1816-1

備考：審判員入門講習と合同開催

※2名受講

#### ◆日本ゴールボール選手権大会 オフィシャルクリニック

日時：2023年10月1日（日）

会場：新宿スポーツセンター（東京都）

〒169-0072 東京都新宿区大久保3-5-1

備考：審判員入門講習会、レフェリー・オフィシャル練習会と合同開催

※23名受講。

### 【審判員入門講習会】 審判員に興味がある方、クラブチームのメンバー対象

#### ① 審判員入門講習会（講義・実技講習）

日程：2023年6月10日（土）・11日（日）

会場：所沢市民体育館（埼玉県）

〒359-0042 埼玉県所沢市並木5-3

備考：女子予選オフィシャルクリニック、レフェリー・オフィシャル練習会と合同開催  
※8名受講

② 審判員入門講習会（講義・実技講習）

日程：2023年8月5日（土）・6日（日）

会場：所沢市民体育館（埼玉県）

〒359-0042 埼玉県所沢市並木 5-3

備考：男子予選オフィシャルクリニック、レフェリー・オフィシャル練習会と合同開催  
※4名受講

③ 審判員入門講習会（講義・実技講習）

日程：2023年9月3日（日）

会場：福岡クローバープラザ

〒816-0804 福岡県春日市原町 3丁目 1-7

※10名受講

④ 審判員入門講習会（講義・実技講習）

日程：2023年10月8日（日）

会場：岐阜県福祉友愛アリーナ

〒502-0851 岐阜県岐阜市則武 1816-1

備考：オフィシャルクリニックと同時開催  
※2名受講

⑤ 日本ゴールボール選手権大会（講義・実技講習）

日程：2023年9月30日（土）・10月1日（日）

会場：新宿スポーツセンター（東京都）

〒169-0072 東京都新宿区大久保 3-5-1

備考：日本ゴールボール選手権オフィシャルクリニック、レフェリー・オフィシャル練習会と合同開催  
※8名受講

### 【大会運営（ボランティア・コーディネーション）】

昨年度に引き続き「競技運営ボランティア（オフィシャル）」と「大会運営ボランティア」に分けて大会運営を行った。また、日本選手権のオフィシャルクリニックではこれまでに大会に参加したことがある方などに募集を絞り、オーバータイムやエクストラスローの確認やこれまでの疑問点などを中心に行ったことで、日本選手権の試合もスムーズに試合が進行できた。

昨年度は大会時にボランティアが足りなかったことを踏まえ、早めに募集を開始した。逆に多くの方などから募集があり、断ることがあった。今後は開催地などに応じて募集期間を変更する、優先順位を明確にするなども必要。

ボランティア説明会（オンライン）：4回開催（男女予選大会2回ずつ）、計50名参加  
大会ボランティア参加：3大会、計123名参加（競技運営87名、大会運営36名）

### 【国際大会レフェリー参加状況】

- ① Malmö Lady Intercup 2023  
2023年5月19日～21日
- ② Asean Para Games 2023 Cambodia  
2023年6月4日～8日
- ③ IBSA World Games  
2023年8月20日～27日
- ④ Hangzhou Asian Para Games  
2023年10月21日～28日
- ⑤ 2023 IBSA Asia Pacific Goalball Championship  
2023年11月13日～18日

## 2. 強化合宿等開催事業

### (1) トップカテゴリー

《2023年》

- ① 4月8日(土)～16日(日) NTC イースト
- ② 4月22日(土)～30日(日) NTC イースト
- ③ 5月6日(土)～9日(火) NTC イースト
  
- ④ **【リトアニア遠征：INTERNATIONAL MEN GOALBALL TOURNAMENT (男子)】**  
会場：ヴィリニュス (リトアニア)  
日程：5月11日(木)～14日(日)
  
- ⑤ **【スウェーデン遠征：Malmo Lady Intercup 2023 (女子)】**  
会場：マルモ (スウェーデン)  
日程：5月18日(木)～21日(日)
  
- ⑥ 6月10日(土)～18日(日) NTC イースト
- ⑦ 6月24日(土)～7月2日(日) NTC イースト
  
- ⑧ **【トレーニングキャンプ：Brazil Training Camp (男子)】**  
会場：サンパウロ (ブラジル)  
日程：6月29日(木)～7月6日(木)
  
- ⑨ **【MONEY DOCTOR パラスポーツスペシャル 第30回 日本ゴールボール選手権大会 女子予選大会】**  
会場：所沢市民体育館 (埼玉県)  
日程：7月15日(土)～16日(日) 強化委員会視察
  
- ⑩ 7月22日(土)～30日(日) NTC イースト
- ⑪ 8月11日(金・祝)～18日(金) NTC イースト
  
- ⑫ **【IBSA 最終予選：2023 IBSA World Blind Games (男女)】**  
会場：バーミンガム (イギリス)  
日程：8月17日(木)～28日(月)
  
- ⑬ **【MONEY DOCTOR パラスポーツスペシャル 第30回 日本ゴールボール選手権大会 男子予選大会】**  
会場：所沢市民体育館 (埼玉県)

日程：9月16日（土）～18日（月）強化委員会視察

⑭ 9月23日（土）～10月1日（日）NTC イースト

⑮ 10月14日（土）～20日（金）NTC イースト

⑯ 【アジパラ：Asian Para Games（男女）】

会場：杭州（中国）

日程：10月22日（日）～28日（土）

⑰ 11月6日（月）～9日（木）NTC イースト

⑱ 【2023 Asia Pacific Championships（女子）】

会場：杭州（中国）

日程：11月10日（金）～19日（日）

※11月10日（金）出国～20日（月）帰国予定

⑲ 12月2日（土）～10日（日）NTC イースト

⑳ 12月16日（土）～24日（日）NTC イースト

《2024年》

㉑ 1月6日（土）～14日（日）NTC イースト 韓国クラブチーム招聘事業

㉒ 1月20日（土）～28日（日）NTC イースト

㉓ 2月10日（土）～25日（日）NTC イースト

㉔ 3月2日（土）～10日（日）NTC イースト

㉕ 【2024 ジャパンパラゴールボール競技大会（女子）】

会場：横浜国際プール

日程：3月15日（金）～16日（土）

㉖ 【VANDA Goalball Nations Cup 2024（男子）】

会場：ベルリン（ドイツ）

日程：3月15日（金）～17日（日）

㉗ 3月23日（土）～24日（日）NTC イースト

## （2）次世代・ユースカテゴリー

《2023年》

① 4月22日（土）～23日（日）所沢市民体育館

② 5月27日（土）～28日（日）所沢市民体育館

③ 【韓国遠征、第3回 忠清南道知事杯 全国障害者ゴールボール大会】

会場：忠清南道 牙山市（韓国）

日程：7月7日（金）～9日（日）

④ 8月12日（土）～13日（日）所沢市民体育館

⑤ 9月9日（土）～10日（日）所沢市民体育館

⑥ 【ユースキャンプ】

会場：所沢市民体育館

日程：10月8日（日）～9日（月・祝）

⑦ 11月11日（土）～12日（日）所沢市民体育館

《2024年》

⑧ 1月20日（土）～21日（日）所沢市民体育館

### 3. 技術部

#### (目的)

盲（視覚特別支援）学校・障害者スポーツ関連機関・また一般校に通う視覚障害児童生徒を対象とし、国内でゴールボール競技の普及と振興を推進した。また、地域での体験会や障害の有無に関わらず、互いの交流や競技普及を目的とする大会などの機会を設け、更に初心者チームへは競技規則の習得・レフェリーを目指す方の習得となる中級者レベルの大会（アドバンス大会）を、23年度初めて開催し、ゴールボール競技への一層の理解と普及・啓発を図った。

また、体験会依頼は22年度20件であったが、23年度は43件の依頼に協力させて頂いた。

#### (1) 「盲学校体育連盟等との連携事業」

日程：2023年12月12日（火） 会場：佐賀県立盲学校

参加者：小学部～高等部生徒30名

#### (2) 一般校で学ぶ弱視児童生徒への啓発事業

日程：2023年9月6日（水） 会場：世田谷区立笹原小学校

参加者：2年生～6年生13名

日程：2023年10月10日（火） 会場：足立区立足立小学校

参加者：1年生～5年生19名

#### (3) 2023 チャレンジゴールボール大会 Supported by デイ・クリエイト

◎2023 チャレンジゴールボール北信越大会 Supported by デイ・クリエイト

日程：2023年6月25日（日） 会場：長野県障がい者福祉センターサンアップル

参加者：5チーム19名

◎2023 チャレンジゴールボール近畿大会 Supported by デイ・クリエイト

日程：2023年7月9日（日） 会場：京都市障害者スポーツセンター

参加者：10チーム36名

◎2023 チャレンジゴールボール関東大会 Supported by デイ・クリエイト

日程：2023年8月12日（土） 会場：江戸川区スポーツセンター

参加者：12チーム47名

◎2023 チャレンジゴールボール北海道・東北大会 Supported by デイ・クリエイト



日程：2023年8月27日（日） 会場：札幌市身体障害者福祉センター  
参加者：3チーム14名

◎2023 チャレンジゴールボール東海大会 Supported by デイ・クリエイト  
日程：2023年10月22日（日） 会場：名古屋市障害者スポーツセンター  
参加者：8チーム37名

◎2023 チャレンジゴールボール中国大会 Supported by デイ・クリエイト  
日程：2023年11月12日（日） 会場：邑南町健康センター元気館  
参加者：10チーム50名

◎2023 チャレンジゴールボール四国大会 Supported by デイ・クリエイト  
日程：2023年11月26日（日） 会場：とくぎんトモニアリーナ  
参加者：10チーム39名

◎2023 チャレンジゴールボール九州大会 Supported by デイ・クリエイト  
日程：2024年1月28日（日） 会場：SAGA パラスポーツセンター  
参加者：9チーム30名

#### (4) アドバンスカップ

日程：2023年10月7日（土） 会場：所沢市民体育館  
参加者：男子4チーム25名 女子3チーム15名

#### (5) 「体験会・講演会協力」

##### \*学校・公共関係体験会

◎「パラリンピック競技体験授業」 依頼：新宿区教育委員会  
日程：2023年7月7日（金） 会場：新宿区立落合第5小学校 参加者：4年生40名  
日程：2023年8月31日（木） 会場：新宿区立余丁町小学校 参加者：4年生58名  
日程：2023年10月3日（火） 会場：新宿区立江戸川小学校 参加者：4年生46名  
日程：2023年10月27日（金） 会場：新宿区立早稲田小学校 参加者：4年生110名

◎「子供を笑顔にするプロジェクト」 主催：東京都 運営：ニッポン放送プロジェクト  
日程：2023年5月23日（火）  
会場：文京区立さくらだこども園 参加者：年中・年53名  
日程：2023年9月8日（金）  
会場：杉並区立堀ノ内子供園 参加者：年中24名・年長23名  
日程：2023年9月13日（水）  
会場：江戸川区立下小岩小学校 参加者：5年生81名

日程：2023年10月11日（水）

会場：大田区立萩中小学校 参加者：4年生 41名

日程：2023年10月30日（月）

会場：文京区立青柳幼稚園 参加者：年中・年長 36名

日程：2023年10月31日（火）

会場：練馬区立光和小学校 参加者：4年生 125名

日程：2023年12月1日（金）

会場：町田市立七国山小学校 参加者：3年生 71名

日程：2023年12月12日（火）

会場：東村山市立八坂小学校 参加者：4年生～6年生 340名

日程：2023年12月13日（水）

会場：中央区立中央小学校 参加者：4年生 53名

日程：2024年1月19日（金）

会場：福生市立福生第2中学校 参加者：1年生 120名

◎「令和5年度学校2020レガシー推進校」 依頼：世田谷区スポーツ推進課

日程：2023年7月5日（水） 会場：世田谷区立駒繫小学校 参加者：3年生 92名

日程：2023年10月5日（木） 会場：世田谷区立玉堤小学校 参加者：4年生 96名

◎「バラスポーツ訪問教室」 依頼：渋谷区スポーツ推進課

日程：2023年10月18日（水）、12月22日（金）

会場：渋谷区立中幡小学校 参加者：特別支援学級 10名

◎「職員研修&つながりづくり研修」 依頼：社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会

日程：2023年11月30日（木）

会場：名古屋市障害者スポーツセンター 参加者：50名

◎「ゴールボール体験授業」 依頼：京都府向日市

日程：2024年2月22日（木）

会場：京都府向日市立第5向陽小学校 参加者：5年生 79名

◎「東京都教育委員会体育健康推進校事業＜講演会と体験会＞ 主催：東京都教育庁

日程：2024年2月29日（木）

会場：足立区立足立小学校 参加者：3年生 100名

＜講演会テーマ：バラスポーツっておもしろい・みんな一緒に楽しめる世界＞

◎「東京都放課後子ども教室」 主催：東京都教育庁 運営：スポーツデータバンク

日程：2023年10月11日（水）

会場：稲城市立若葉台小学校 参加者：生徒 24名

日程：2023年11月30日（木）

会場：新宿区立花園小学校 参加者：生徒 12 名  
日程：2023 年 12 月 6 日（水）  
会場：練馬区立光が丘夏の雲小学校 参加者：生徒 20 名  
日程：2023 年 12 月 8 日（金）  
会場：北区立赤羽台西小学校 参加者：生徒 17 名  
日程：2023 年 12 月 13 日（水）  
会場：新宿区立余丁町小学校 参加者：生徒 27 名  
日程：2023 年 12 月 14 日（木）  
会場：三鷹市立羽沢小学校 参加者：生徒 14 名  
日程：2024 年 1 月 16 日（火）  
会場：中野区立中野第一小学校 参加者：生徒 11 名  
日程：2024 年 1 月 17 日（水）  
会場：新宿区立淀橋第 4 小学校 参加者：生徒 20 名  
日程：2024 年 1 月 30 日（火）  
会場：練馬区立豊玉第 2 小学校 参加者：生徒 18 名  
日程：2024 年 1 月 31 日（水）  
会場：中野区立南台小学校 参加者：生徒 18 名

◎「八戸市スポーツ大使ふるさとセミナー」 主催・運営：八戸市  
日程：2023 年 9 月 20 日（水）  
会場：八戸市立豊崎中学校 参加者：生徒 26 名  
日程：2023 年 10 月 6 日（金）  
会場：八戸市立田面木小学校 参加者：4 年生 37 名  
日程：2024 年 2 月 6 日（火）  
会場：八戸市立明治中学校 <講演会と体験会>  
参加者：2 年生 55 名 <講演会テーマ：夢を持ち続ける>

\* 企業・イベント関係体験会

◎「バラスポーツサークル」 主催：渋谷区スポーツ推進課 運営：スポーツビズ  
日程：2023 年 7 月 29 日（土）、8 月 5 日（土）  
会場：渋谷区ひがし健康プラザ 参加者：両日とも募集定員 20 名中 15 名

◎「スポーツの祭典」 主催：台東区 運営：吉本興業  
日程：2023 年 8 月 19 日（土）  
会場：台東リバーサイドスポーツセンター 参加者：80 名

◎「スポーツフェスティバル」 主催・運営：北本市スポーツ協会  
日程：2023 年 10 月 9 日（月）  
会場：北本市体育センター 参加者：40 名

◎「パラスポーツ体験」 主催・運営：新宿区地域振興部

日程：2023年11月18日（土）

会場：新宿コズミック 参加者：募集定員30名中15名

◎「えひめパラスポーツフェスティバル」 主催：愛媛県 運営：南海放送

日程：2023年11月23日（木）

会場：愛媛県総合運動公園 参加者：55名

◎「チャレンジA2023」 主催・運営：朝日新聞

日程：2023年12月17日（日）

会場：三輪田学園 参加者：募集定員小学生30名

◎「チャレスポ！TOKYO」 主催：東京都・東京都障害者スポーツ協会 運営：TOW

日程：2024年1月20日（土）

会場：東京体育館 参加者：170名

◎「多摩区スポーツフェスタ」 主催・運営：多摩区役所まちづくり推進部地域振興課

日程：2024年3月10日（日）

会場：川崎市多摩スポーツセンター 参加者：40名

\* 「パートナー企業権益」

◎(株) SMBC 信託銀行 社内イベント

日程：2023年11月24日（金） 会場：三井住友銀行本店

参加者：参集とWEB参加で40名

講演：「サステナビリティ ゴールボール支援イベント」として、ゴールボール支援の理解促進を目的に、所属選手である選手とゴールボール競技の歴史やルールや見どころ、パリパラリンピックに向けての戦いを振り返る。

◎(株) SMBC 信託銀行・SMBC 日興証券 ゴールボール体験会

日程：2023年12月15日（金） 会場：バラアリーナ 参加者：30名

\* 「パートナー企業向け体験会」

日程：2024年1月15日（月） 会場：バラアリーナ 参加者：6社12名

\* 「メディア向け体験会」

日程：2024年1月15日（月） 会場：バラアリーナ

目的：ゴールボールを実際に体験することでゴールボール競技を理解していただくこと。

申込人数：2名 ※履行最低人数に達しなかったため中止とした。

\* 「その他協力 体験取材・撮影」

◎NHK「アニ×パラ DA PUMP とゴールボール体験およびダンス」 依頼・運営 NHK  
日程：2024年2月28日（水） 会場：アリーナ立川立飛

◎「阿佐ヶ谷アパートメント」 依頼・運営 NHK  
日程：2024年3月1日（金） 会場：東久留米市立旧下里小学校

## 4. 広報・マーケティング部

2023年度は、2022年度に見直したJGBA中・長期基本計画を着実に実践する年にした。これまでの活動を継続・発展させ、日本代表チームの成果を中心にゴールボールの認知を高めた。30回の節目となった日本ゴールボール選手権大会では動画上映や本棚・クローゼット募金などで盛り上げ、活動開始30周年（日本におけるゴールボール30周年）記念事業の計画立案を始めた。しかし、協会内のコミュニケーションを活性化させ、事業の相乗効果・有機的な連動や連携を促進することはできなかった。

### JGBA中・長期基本計画（広報・マーケティング計画抜粋）

- ・2028年には、日本ゴールボール選手権大会において観客席の80%が埋まっている、また、予選大会において観客席の50%が埋まっている。
  - ・2028年までに、47すべての都道府県において『ひとつのクラブチーム』が継続して活動し、『(各都道府県に)一人の指導者(公認ライセンス保有者)』『(各地域に)二人のレフェリー(公認審判員制度登録者)』『(各都道府県に)三人の正会員』がいる。
- 2028年までに、協会財源の3分の1は、自主財源（会費、個人寄付、事業収入、企業協賛）となっている。

#### (1)「ゴールボールを『知る』」を増やすための広報・マーケティング

これまでのウェブサイト、ソーシャルメディア、メールマガジン、プレスリリースといった情報発信を継続し、ゴールボールを知るための発信内容（コンテンツ）の充実を図った。

- ・月刊ゴールボールマガジン購読キャンペーンの実施し、112名が新規登録した。
- ・SNSでの情報発信を継続し、各SNSで100名程度のフォロワーが増えた。
- ・4名の日本代表強化指定選手のロングインタビューのほか、トレーナー2名と映像分析班のロングインタビューをウェブサイトに掲載した。
- ・文化祭や学園祭、教育現場での利用を目指して、ゴールボール紹介パネルを紹介するページを作成した。
- ・メディア（報道機関）向けの体験会を企画したが、申込者が集まらず中止とした。

#### 2023年度の実績

ウェブサイト	2023年度	2022年度	比較
ユーザー数	55,551名	38,538名	+17,013名
閲覧数（ページビュー数）	252,457	177,462	+74,995
平均滞在時間	2分44秒	2分50秒	-6秒

※3月23日時点

ソーシャルメディア	2024年3月	2023年3月	増加数（率）
-----------	---------	---------	--------

X (Twitter)	1,556 名	1,365 名	191 名 (114.0%)
Instagram	1,147 名	964 名	183 名 (118.9%)
Facebook	2,508 名	2,419 名	89 名 (103.7%)
YouTube	687 名	595 名	92 名 (115.5%)
メールマガジン	568 通	375 通	193 通 (151.5%)

※3月23日時点

プレスリリース	2023 年度	2022 年度	比較
配信件数	35 件	30 件	+5 件
閲覧数	27,387 回	27,437 回	-50 回
転載数	905 件	892 件	+13 件

※3月23日時点

## (2) 「ゴールボールを『観る』」を増やすための広報・マーケティング

会場来場によるゴールボール観戦に加え、全国からオンラインで観戦できるように環境を整えた。そのひとつとして、競技紹介・競技ルール・観戦マナー動画を作成した。30 回目の記念大会となる日本ゴールボール選手権大会を盛り上げる企画を行った。

- ・予選大会に出場したクラブチームに関するアンケートを実施し、ウェブサイトクラブチーム情報を掲載した。
- ・アニメーションによる「はじめてのゴールボール」(競技紹介・競技ルール・観戦マナー)を作成し、YouTube やプレスリリースなどで広く伝えた。
- ・東京都 TeamBeyond のゴールボール選手の特徴を伝える動画の作成に協力し、日本ゴールボール選手権大会会場ロビーで上映した。

「はじめてのゴールボール」YouTube 再生回数

	2024 年 3 月
競技紹介編	4,695 回
競技ルール編	3,566 回
観戦マナー編	1,757 回
合計	10,018 回

## (3) 「ゴールボールを『する』」を増やすための広報・マーケティング

他の部会との綿密に連携し、盲学校や視覚特別支援学校以外の一般校に通う生徒・保護者へのアプローチも意識して主催事業の広報に取り組んだ。

- ・チャレンジゴールボール大会や体験会の案内に加え、参加者の声を入れたチャレンジゴールボール大会の開催報告を継続した。
- ・一般校に通う視覚障害生徒と保護者にも届く広報アプローチとして、大学の眼科学教室や各地の視能訓練士協会、理学療法士会へチャレンジゴールボール大会を案内した。信州大学(北信

越大会)、視能訓練士会(東海大会、九州大会)の参加につながった。

- ・アニメーション動画「はじめてのゴールボール」を利用した教材開発はできなかった。

#### (4)「ゴールボールを『支える』を増やすための広報

主催事業の有機的な連動を図り、レフェリーや指導者、大会ボランティア、会員、寄付といった個人での参加・協力の促進については、満足のいく活動ができなかった。

- ・日本ゴールボール選手権の公式プログラムに会員入会や寄付の呼び掛けや公認ライセンス制度や公認審判員制度の紹介を掲載した。
- ・レフェリー・クリニック/オフィシャル・クリニックの開催地域(東京都/埼玉県/福岡県/岐阜県)を重視した情報発信、盲学校・視覚特別支援学校の教員やパラスポーツ指導員といった公認ライセンス制度(指導者)の想定参加者を明確にした広報はできなかった。

#### (5)「ゴールボールを『支える』を増やすためのマーケティング

協会の財源の3分の1を会費、個人寄付、事業収入、企業協賛といった自主財源にすることを目標にし、協会財源の確保と多様化を進めた。ゴールボール競技の普及を妨げている課題を他部会とともに整理することはできなかったが、企業・団体の支援は増やすことができた。

### 会費

- ・オリオンJAPANの活用した会員入会特典(フェイスタオル)を作成し、会員維持・入会促進につとめた。
- ・会員種別の見直し・多様化について部門レベルで検討し理事会に提案したが、総会の審議事項にはできなかった。

会員数	2024年3月	2023年3月	増加数(率)
個人正会員	102名	103名	-1名(99.03%)
個人賛助会員	154名	109名	+45名(141.28%)
団体賛助会員	1団体	1団体	0団体(100.00%)

### 寄付

- ・誰でも参加しやすいブックオフコーポレーションと協働した物品寄付プログラム「本棚・クローゼット募金」を開始し、買取額10%のキャンペーンを3回実施した。
- ・「本棚・クローゼット募金」のチラシを作成し、チャレンジゴールボール大会や体験会などで配布したほか、協賛資料で「本棚・クローゼット募金」を紹介するスライドを作成し、新規企業にも積極的に案内した。ご協力いただいた企業には感謝状を持参した。

本棚・クローゼット募金実績



	2023 年度
協力件数	43 件
寄付金額	90,072 円

※2024 年 3 月 23 日時点

### 企業協賛（オフィシャル・パートナー・プログラム）

- ・ SNS やメルマガではオフィシャル・パートナー・プログラム参画企業のロゴ露出を意識した情報発信を行った。
- ・ 活動報告（共生社会実現をテーマにしたディスカッション）、日本代表による大会報告などパートナーミーティングを 3 回実施し、交流を深めた。
- ・ パートナー企業向けの体験会には、日本代表選手やスタッフ、理事も参加し開催することができた。日本代表とゴールボールを通じて直接交流する機会を作れ、満足度を高めることができた。
- ・ 日本代表強化指定選手が所属する企業に対するアプローチを強化し、2 社（関彰商事・日本国土開発）と契約することができた。他の所属企業とも継続したコミュニケーションが取れている。
- ・ 企業・団体のニーズを的確に把握して協賛プランを多様化させたことで、パートナーは 3 社（2024 年 4 月）、サポーターは 1 社（2023 年度期中）、サプライヤーは 4 社（2 社は 2023 年度期中）、チャレンジゴールボール大会特別協賛は 1 社、新規で契約することができた。
- ・ 地方自治体・教育機関向け参画プログラムとして「オフィシャル・アソシエイト・プログラム」を新設し、所沢市と新宿区で提案することができた。

## 5. イノベーション推進室 2023 年度活動報告

### 1. 活動目標

イノベーション推進室は 2022 年度に立ち上がり、若者に新たなゴールボールへの関わり方を提供することを活動の目標としている。東京 2020 大会以降、パラスポーツへの注目度が高まる中、スポーツに興味を持つ学生は増加している一方でパラスポーツへの関わり方は限られている。そのような背景の中、より多くの人々がパラスポーツと多様な関わり方ができる機会を提供し、その体験を通してゴールボールの魅力を伝え、ファンを増やすことを目指している。

### 2. 2023 年度の活動概要

発足 2 年目として、イノベーション推進室の活動を継続、発展させた。活動の継続としては、定期的な対面・オンラインミーティングの実施を通し、増員を実施した。ミーティングでは、イノベーション推進室の活動計画やメンバーの動機について議論し、昨年度の 3 校 5 名から、今年度は 7 校 13 名へと中心メンバーが増加した。さらに、活動の発展として、観戦イベントを通してゴールボールの魅力を体験、ファンコミュニティを形成する機会を提供した。また、SNS 運用では、インスタグラムを活用してゴールボールの競技や選手の魅力を伝え、ファンを増やすためのキッカケにした。有楽町マルイでのイベント出展では、ゴールボールに関心を持つ学生や一般の方々にゴールボールの魅力を紹介し、応援メッセージの募集や試合映像の投影などを行なった。

#### (1) ミーティング

全 45 回のミーティング（週一回の定例ミーティング+ $\alpha$ ）を実施。

ミーティングの中で主に行ったことは、下記の通り

- ・イノベーション推進室/SNS/聴戦会コンセプト設計
- ・SNS/聴戦会コンテンツ設計
- ・メンバー動機聞き取り
- ・メンバー勧誘声かけ
- ・ゴールボールに関するディスカッション
- ・聴戦会進行台帳作成
- ・学生団体おりがみ、上智大学 Go Beyond への事前告知
- ・関連団体への広報と協力関係構築
- ・会場図の設計、設営
- ・導線整理、備品整理

上記のオンラインミーティングに加え、下記の機会に足を運び、ゴールボール理解を深め、対面ミーティングを行った。

- ・3月12日ジャバラ
- ・7月16日日本選手権女子予選

- ・ 9月18日日本選手権男子予選
- ・ 10月1日日本選手権本戦会場下見

## (2) 聴戦会

2023年11月5日に開催された日本選手権本選において観戦イベントを企画した。目的は2点あり、1点目は日本で行われる最高峰の戦いである日本選手権本戦を観戦することで、ゴールボールの試合における駆け引きや勢いといった魅力を伝えること、2点目は観戦の際には、SNS上での感想シェア、自己紹介、ディスカッションなどの交流の機会を設け、新たな観戦体験を創出することである。本企画を通し、ゴールボールの魅力を知り、ゴールボールファンの学生同士のつながり作りの第一歩となることを目指した。

内容：

日本選手権本戦において、主に下記4つのコンテンツを作成した。対象は学生、特にスポーツ、パラスポーツ、ボランティア、教育、福祉に関心ある学生とした。対象を学生に絞った理由は2点ある。1点目は企画運営上、目が届く人数に参加者を絞る必要があったこと、その上で2点目はイノベーション推進室に所属するメンバーと同じ学生を対象とすることが広報・企画上最もリーチ可能であり効果の最大化が見込めると考えたことである。ペルソナとして、参加前はゴールボールを知らない、ただパラスポーツ・ゴールボールなどの関連キーワードに興味はある学生を想定し、本企画の参加を通して、ゴールボールファンのコミュニティができ、様々な形（SNS、試合観戦、ボランティア、イノベーション推進室）でゴールボールを応援する学生になってもらうことを目指した。

### ①日本選手権本戦観戦

概要：試合観戦を行う。

目的：ゴールボールの試合における駆け引きや勢いといった魅力を伝える。

ゴール：ゴールボールファン、イノベーション推進室メンバーになってもらう。

### ②アイシェード、ボールの体験会

概要：アイシェードとボールに実際に触れてもらう。

目的：重さや感覚など、身近に感じてもらう。

ゴール：感覚を通してゴールボールについて知る機会にする。

### ③チャット観戦

概要：チャットツールを使用して、静寂の中、皆で盛り上がりながら観戦する。チャットの履歴を選手に届ける。

目的：観客が盛り上がりながら観戦できる環境を整える。後日、そこで共有された意見をまとめ協会・選手に報告することで、はじめてゴールボールを観戦する観客のリアクションを知ることができる機会を用意する。試合中、疑問点や分からないことがあれば、質問できる環境を整える。

ゴール：ゴールボールファンの継続したつながりを作る、第一歩のコミュニティとする。

#### ④ワークショップ

概要：ゴールボールの概要説明、アイスブレイク、自己紹介、学んだことの振り返りを行う。

- ・自己紹介
- ・ゴールボール概要説明
- ・試合情報
- ・写真で感想共有（ゴールボールの魅力だとおもったところを写真撮っておくよう指示。感想共有の際に使用する。）

目的：ファンコミュニティ形成の第一歩として、互いに友達になる。感じたこと、学んだことを共有し、ゴールボールに対する思いを深める。

ゴール：継続したゴールボールファンになる。

結果：

当日は10名の学生が参加し、上記のコンテンツを実施した。ゴールボール試合観戦が初めての参加者が半数を占めており、ゴールボールに対する意見を交換しながら試合観戦を行った。意見交換をする上で盛り上がったのが③チャットでの試合観戦である。今回は Slido というツールを用いた。静寂に観戦するゴールボールにおいてもリアルタイムで疑問点や感想を共有することができ、有効な手段であることが分かった。

### (3) SNS 運用

Instagramを利用した情報発信を通して、学生を中心にゴールボールの競技・選手の魅力を伝えることを目標とした。また、学生からの応援メッセージや質問などが実際に選手に届く場面を伝えることによって、ゴールボールにさらに興味を持ってもらい、競技運営や広報活動に関わりたいメンバーを発掘する。

内容：

2023年8月初旬に、Instagram アカウント「ゴールボール応援隊」を作成した。初回のコンテンツとして、以下の三つの投稿を行っている。

【ゴールボール応援隊 はじめまして！】

以下の三点の内容を発信した。

- ・日本ゴールボール協会イノベーション推進室の学生メンバーが運営している
- ・オリオン JAPAN とサポーターが繋がれる場を目指している
- ・サポーターから集めた応援メッセージ、質問などをオリオン JAPAN のメンバーに伝えること

【イノベーション推進室とは？】

以下の三点の内容を発信した。

- ・活動のきっかけ
- ・現状の課題
- ・私たちの思い

【オリオン JAPAN 名前に込められた思い】

以下の三点の内容を発信した。

- ・パラリンピック競技であるゴールボールの日本代表の呼称であること
- ・オリオンとは？
- ・ゴールボールとオリオンの共通点

#### 【オリオン JAPAN 選手のインタビュー動画作成】

コンテンツ作成のため、代表チームの許可を得て、代表選手の 12 名の方にインタビュー取材を行った。

- ・「得意なプレーは？」「注目のプレーは？」
- ・「2023 IBSA ワールドゲームズへの意気込み」

撮影した動画は、字幕や BGM をつけるなどの編集をして投稿した。

2023 IBSA ワールドゲームズへ出場する代表選手へ向けた、応援メッセージの募集を行った。動画を作成に協力してくれた団体は下記の通りである。

- ・パラ大学祭運営メンバー：動画撮影に 6 大学 8 名が参加
- ・順天堂大学パラスポーツ同好会：動画撮影に 8 名が参加
- ・学生団体おりがみ：動画撮影に 3 大学 3 名が参加
- ・パラスポデザインカレッジ：動画撮影に 2 名が参加

各団体から送られてきた動画は、字幕や BGM をつけるなどの編集をして投稿した。また、投稿した動画を各団体の SNS アカウントで紹介してもらった。

大会時には、試合時間と YouTube リンクの発信、試合結果速報の投稿なども行った。

結果：

インスタグラムアカウントのフォロワーは 230 人を超え、投稿が 4 万回以上 閲覧されたこともあった。学生を中心に、今までゴールボールを知らなかった人にも情報を届けられた。また、投稿時に、「いいね」やコメントをしてくれるファンも徐々に増えた。

#### (4) 有楽町マルイのイベントにブース出展

障害に関連する活動をしていたり興味を持っていたりする学生に、ゴールボールに関わる魅力を伝えることを目標とした。

内容：

イベントにて、「ゴールボール応援隊」の活動紹介

- ・選手への応援メッセージ募集
- ・ゴールボールの試合映像の投影
- ・ゴールボール認知度調査
- ・トークセッションに登壇し、ゴールボールの魅力を紹介
- ・ジャパラのポスター掲示

#### 【イベントの開催背景】※イベントのプレスリリースより引用

私たちビーラインドプロジェクトは、見える人も見えない人も見えにくい人も一緒に楽しめる

機会で溢れる社会を理想として活動をしてきました。これまでの2年間の活動の中で、視覚障害のある人が抱える課題の広さを感じるとともに、課題と一緒に解決していく関係人口の少なさも同時に感じてきました。本イベントは視覚障害という領域のみならず、障害に関連した取り組みを行っている学生達が集結し、各々の活動と想いを伝える場を目指していきます。バラスポーツやメディア、ファッションといった様々なアプローチから「障害」という壁を超えた世界の実現を目指す私たち若者と是非交流できればと思います。ロゴと名前に込められた思いでもある、若者の取り組みとしての未熟さと情熱を真っ直ぐ伝えられるイベントの実現を目指します。

(主催：一般社団法人ビーラインドプロジェクト 代表理事 浅見幸佑)

出典：「障害」をテーマに問題解決や社会変革に取り組む学生が有楽町マルイにてイベント【青春障害突破展】を開催 (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000132659.html>)

結果：

当日 11-17 時の展示・トークセッションで、学生を中心に幅広い年代の方にゴールボールの魅力伝えることができた。選手の活躍を知り、多くの方が応援メッセージを記入してくださっていた。さらに、ゴールボールを会場で観戦する面白さを伝えたことが契機となり、ジャパラに行く予定を入れてくださった方が3名いた。

## 6. 理事会開催日

### ◎理事会 全てオンライン会議

第1回	2023年	4月 9日(日)
第2回		5月 6日(土)
臨時理事会1		5月28日(日)
第3回		6月11日(日)
第4回		7月15日(土)
第5回		8月12日(土)
第6回		9月16日(土)
第7回		10月15日(日)
第8回		11月11日(土)
第9回		12月 9日(土)
第10回	2024年	1月13日(土)
第11回		2月10日(土)
臨時理事会2		2月26日(月)
臨時理事会3		3月 1日(金)
臨時理事会4		3月 5日(火)
第12回		3月 9日(土)
臨時理事会5		3月23日(土)
臨時理事会6		3月27日(水)